

ぶどう通信

第 179 号

平成 27 年 11 月 1 日

秋はもう少し続きますが、すでに十一月、年末になってきました。まだ今年一年を振り返るには早いですが、年末年始の予定だけは立てておかないと…とは思っています。

実は僕たち夫婦が新宿で訪問診療を始めてこの十一月で丸十八年になります。三十歳そこそこで始めましたので初期の患者さんは僕たち世代の祖父、祖母の世代でした。明治生まれの方もいる中で大正初期の方が多かったように思います。そのうち、昭和一ケタ世代、昭和十年世代が最も多くなってしまう、がちり僕たちの両親世代になってしまいました。そう考えると世代をまたいで訪問を

続けていることになりましたね。

さて皆さん、先月「バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2」が話題になったのをご存知ですか。

マイケル・J・フォックス主演で話題になったタイムトラベル映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の続編で、劇中1985年から2015年10月21日にタイムトラベルをする設定です。当時のスタッフが近未来の2015年を想像した映画ということ、先月21日、映画と現実の比較などが話題になったのです。

実はこの「バック・トゥ・ザ・フューチャー」騒ぎ、

僕はとっても感慨深いんです。劇の



スタートである1985年、まさに広島から単身上京し、不安だらけの中で大学生活を始めた年なのです。人の多さに目を回し、外食の仕方が分からずおろおろしたり、交通機関が理解できず目白から地図を持って渋谷に行ったり…。

あれから三十年。あの時の自分が今の僕を見ると近未来だなあと思うのか、それとも失望するのかな…

デイネット新宿

先月「デイネット新宿」という所でお話させていただきました。この会は、新宿区で開業しているデイサービス事業者が加盟しています。ここでも本当に熱心に話を聞いていただき